

# 西高 メモリアルスポット



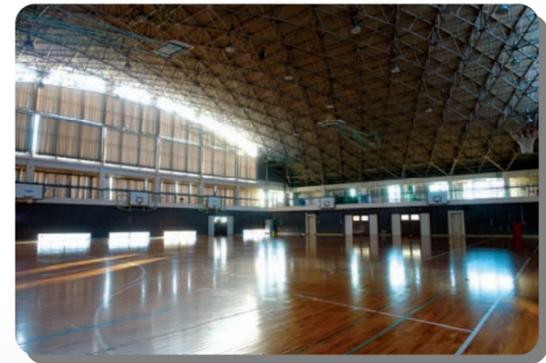
誠実と気迫と親和  
初代校長 向高 祐興むかひ たかすけ

〈昭和四十一年三月PTA広報より〉  
……前略……

諸子の在学中学校は建設につぐ建設の期間であった。そして建設には正しい計画や判断と共に正しい建設への意欲が必要であり、そしてその意欲には豊かな協力の精神が不可欠である。私たちはこの建設の原理は同時に人生の原理である。

今日、美味しいご馳走を喰べる事だけを望み、作らねば喰べられぬ事を忘れている人がいる。仕事(勉強)は苦しく、レクリエーションだけが楽しいと言う人もいる。しかし仕事が最も楽しく、その仕事(勉強)の疲れをいやすレクリエーションも亦楽しくあるべきだと考えるのが望ましい考え方ではないだろうか。

従って私は卒業生の諸子に何より「仕事を楽しく」と言う事を念頭に置いて人生を生き抜いて欲しいと思う。



## 枕草子

春は入試 やうやうしらけなりゆく山かけ、すこしあたりて、うれしがる目すじのほそくたなびきたる。

夏は夏期講習会 クーラーのあるところはさらなり、屋には講師の多く飛びちがひたる、またひとつふたつなど、またひとつふたつなど、公開入試を受けるもをかし、之添削など出すもをかし。

秋は追い込み、あせりもさして、可能性もいとすかるに、志望校の下見に行くこと、みつ、よつ、ふたつ、みつなど、大学めぐるもあはれなり、まいて女子大生など、つらねたるが、つつしみゆるは、いとをかし。

冬はあきらめ 一応受験するはいふべきにもあらず、山かけあたるも、また、さらべき、いかにきぬに、エンピツ直すとて、その首びびきたるも、いとつきつきし、  
(大数より抜粋)

平成2年8月12日開催、第9回星遊会プログラム掲載記事より転載。末尾に(大数より抜粋)とあるが、意味は不明。



Zwei Dinge erfüllen das Gemüt mit immer neuer und zunehmender Bewunderung und Ehrfurcht, je öfter und anhaltender sich das Nachdenken damit beschäftigt:  
der bestirnte Firmament über mir  
und das moralische Gesetz in mir.  
— Immanuel Kant

道

